

平成 28 年度 南魚沼郡市社会科部 活動報告

部長 川崎 英郎（大巻小）

1 研究主題

児童の意欲的な取組を促す支援のあり方
～南魚沼の地域素材を活かした授業づくり～

2 研究の概要

- 授業研究会をとおして、上記主題に迫る授業力の向上を図る。
- 地域巡検を実施して、地域素材を学ぶとともに、教材化の力量を高める。
本年度六日町地域で実施（大和・六日町・塩沢・湯沢の全4地域持ち回り）

3 研究の実際

① 地域巡検 8月19日 六日町地域

・西部幹線用水見学

昭和35年完工した西部開田は、桑畑にししか使えなかった旧六日町～大和町にかけての魚野川西部丘陵地域を、日本を代表する、魚沼コシヒカリを産する美田に変えた。用水を管理する水土里ネットの方の案内で、西部幹線用水路及び取水塔・揚水機場を見学した。

用水路開削の苦労や、管理の工夫などお伺いでき、現在の地域の姿を深く知るよい機会となった。

・八箇峠道路・トンネル見学

南魚沼市と十日町市を結ぶ八箇峠の新しい道路・トンネルの供用開始が今年中の見込みとなった。

担当の方から、新しい高規格道路とトンネルの概要を教えてください、その上で様子を見せていただいた。

地域の未来を見据えた事業の姿にふれ、今後の授業づくりに大いに参考になった。

② 授業研究会 11月4日 会場 六日町小学校

授業者 小野塚 智大 教諭

単元名 「平和で豊かな暮らしをみざして」

写真資料に着目し、戦争の終結と国民生活の変化について考えさせる授業であった。

残念ながら、地域資料が揃わない内容であったが、写真を通して戦時中と戦後の子どもの笑顔に目を向けることで、当時の子どもたちの思いを想像し、単元の追求の方向を定めることができた。

子どもの実感的捉えから追求意欲につなぐ、提案性のある授業であった。

4 成果と課題

巡検、授業研究会ともに多くの会員の参加を得られ、有意義な活動が実現できた。

昨今、各学校で社会科の授業研究をする機会が減っている。社会科を志すもので集まり授業について語り合う会は大変貴重なものである。これからも続けていきたい。

